

日本語訳

Explanatory Notes (p.12)

かな・漢字・ローマ字表記について

本書は日本語の読解力に関係なく会話力を身につけられるよう「かな、漢字、ローマ字」で表記しています。ただしスペースの都合上ローマ字のみの箇所もあります。漢字は日本語で通常使われるものにはふりがなをつけてあります。

本書はヘボン式ローマ字を採用しています。長母音は長音記号(水平のライン)で示しています。

例: tōkyō = tookyoo

ただし「たのしい」のような形容詞の単語の最後の「い」は活用がわかりやすいように“i”と表記してあります。

長い「え」の音は、単語の元のスペルに応じて“ee”または“ei”と表記してあります。多くの場合、ei音の単語は ee のように発音されます。

複合語には“100-en”や“hon-ya”など発音がわかりやすいよう個々の単語の間にハイフンを入れています。

日本語訳

Good to know (p.66, 90, 118)

p.66 Japanese fast food

●食券

日本では、立ち食いそば屋や牛丼屋など、いくつかの飲食店で食券制が採用されています。食券制の店では、入店時に食券を購入し自動販売機で食べたいものの食券を購入し、店員に渡します。食券販売機にお金を入れると、その金額で買える食べ物のボタンが光ります。欲しい食べ物の点灯ボタンを押した後、必ず「おつり」ボタンを押しておつりを受け取ります。

●セルフサービス

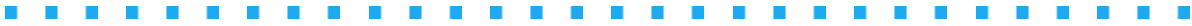
日本のファーストフード店には「セルフサービス」の店がいくつかあります。カウンターやテーブルの上に置かれた水や調味料、薬味などを自分で取りに行きます。食べ終わった後のゴミは自分で捨て、使用したトレイはトレイ回収カウンターに返却します。

●並・大盛 / 大・中・小

牛丼など、丼ものは「並」＝普通盛りと表現するが、うどんのファーストフード店などでは「大」「中」「小」という表現が使われます。注文の仕方は、「牛丼、並をお願いします」「うどんの大、お願いします」などと言うのが一般的です。

p.90 Taxi

東京など大都市では、目的地までのルートを聞かれることも多いです。その場合「お任せします」と言えば、一番早い方法で連れて行ってくれるはずです。ただし、追加料金のかかる高速道路を避けたい場合は、「でも、高速は使わないでください」と付け加えましょう。金額よりも早く着くことを優先するなら「高速でも、大丈夫です」と言います。



p.118 Point card service / Customer Service

① ポイントカードサービス

日本の店はポイントカードがあるところが多く、買い物をした際に、レジの人からポイントカードの有無を聞かれることがよくあります。一定のポイントが貯まるとプレゼントや割引があるお店もあります。

② カスタマーサービス

日本の店で誰かにプレゼントを買う時、店によっては無料のラッピングサービスがありますが、箱や特別なラッピングは有料の場合もあります。事前に確認するといいいでしょう。

また、店には商品ごとに、いろいろな形や大きさの袋が準備しており、顧客のリクエストに応じてラッピングすることが可能です。デパート、大規模な食料品店、家具や電化製品を販売する店では、通常宅配サービスが利用できます。配達のコストは移動距離によって異なりますが、距離が近い場合は無料になることもありますので、手配を行う前に必ず確認してください。

●役に立つフレーズ

- 1 ラッピングをお願いする
- 2 配達を頼む

日本語訳

Grammar (p.165-183)

I 文の構造

1. 基本の文型

日本語の文は大きく以下3つに分類される。

【名詞文】 私は日本人です。

【形容詞文】 メアリーさんは忙しいです。

【動詞文】 田中さんはラーメンを食べます。

「です」の機能は英語の “to be” と似ており、名詞および形容詞文の最後に来る。動詞文の最後には「ます」が来る。「は」は助詞のひとつで、主題や主語を示す。「が」と「も」も同じく主語を示す。→p.166 参照

2. 否定文

否定文は、述語の最後の活用により作られる。日本語では述語が文の最後に来ることが多いため、文を最後まで聞かないと、それが肯定文なのか否定文なのか判断ができない。

【名詞文の否定】 私は日本人じゃありません。

【形容詞文の否定】 メアリーさんは忙しくないです。

【動詞文の否定】 田中さんはラーメンを食べません。

否定文の詳細については、各章を参考にしてほしい。

3. 疑問文(質問文)

文の最後に「か」をつけることで、疑問文になる。

メアリーさんは忙しいですか。

田中さんはラーメンを食べますか。

疑問詞(だれ、なに、いつ、どこ、どうして、どうやってなど)の種類については p.179 参照。

II 助詞

日本語で長い文を作るには、主語と述部の間にさまざまな情報をはさまなければならない。「助詞」という文法機能により、これが簡単になる。

日本語の助詞は英語の前置詞(“in”, “at” など)のような働きをする。下述のように英語の前置詞は名詞や

節、句の前につけるものであるのに対し、日本語は後ろにつける。

彼の部屋で晩ごはんを食べました。

毎朝6時に起きます。

助詞そのものは何の意味も持たないが、文形成において重要な役割を果たしている。

英語には助詞はないが、文内の語順がその役割を果たしている。そのため、英語では文内で語順が変われば違う意味(もしくは非文)になってしまう。

しかしながら、日本語では語順ではなく、助詞とそれに結びつく名詞や節や句という情報のひとかたまりが重要になる。

私は彼女に犬をあげた。＝ 私は犬を彼女にあげた。(語順を変えても同じ意味の文)

ある名詞が助詞とセットである限りは、語順を変えても文の意味が変わることはない。

日本語には複数の助詞があり、後述のようにそれぞれ異なる機能を持つ。

1. は

【主語】

私はタイ人です。

これは500円です。

【主題】

昨日は居酒屋に行きました。

夏休みは何をしましたか。

【比較】

寿司は好きですが、刺身は嫌いです。

2. を

【目的語】

新聞を読みます。

コーヒーを飲みます。

3. に

【目的語】

友達に会います。

父にネクタイをあげます。

バスに乗ります。

【目的地】

中国に行きます。

日本に来ます。

うち**に**帰ります。

※「**へ**」も方角や目的地についての助詞で、「**に**」と入れ替え可能。

【時間】

7 時**に**起きます。

11 時**に**寝ます。

3 時**に**戻ります。

【場所】

弟の部屋**に**テレビがあります。

うち**に**猫がいます。

4. **で**

【動作の場所】

レストラン**で**晩ごはんを食べます。

【手段】

バス**で**行きます。

はし**で**食べます。

【選択】

ウェイター：パンとライス、どちらにしますか。

あなた：パン**で**お願いします。

5. **の**

【所有】

私**の**車

友達**の**本

【所属】

A 社**の**社員

A 大学**の**学生

【属性(種類／特徴)】

日本語**の**先生

いちご**の**シャーベット

【同格】

友達**の**ようこそさん

夫**の**トム

【代名詞】

赤い**の**

熱い**の**

6. と

【行為をともにするもの】

友達と映画を見ました。

えりさんと結婚しました。

社長と話します。

【並列】

パンと卵

7. も

【同列・同意】

これをお願いします。

私も映画が好きです。

【強調】

ワインを5本も飲みました。

8. から

【期間や行為の起点】

うちから学校まで30分かかります。

9. まで

【期間や行為の終点】

9時から11時まで勉強します。

10. が

文の主語を示す役割が主だが、他の機能もある。それゆえ、混乱する人も多い。以下 5 つの機能を覚えておくこと。

【疑問詞疑問文の主語】

だれが来ますか。

いつがいいですか。

【所有や存在を表す文の主語】

うちに自転車があります。

トイレに猫がいます。

【名詞修飾節内の主語】

これはベートーベンがつくった曲です。

【目的語】 →p.18参照

①好き、嫌い、上手、下手

サッカーが好きです。

②わかる、できる、見える、聞こえる

ここから富士山を見ることがができます。

③ほしい、したい

新しいテレビがほしいです。

日本語が勉強したいです。

【主語がもつ特性の一部】

妹は髪が長い。

日本は犯罪が少ない。

Ⅲ 指示詞

日本語の指示詞は4つ(こ・そ・あ・ど)である。→p.28, 40 参照

こ：話し手に近いものを指す

そ：「こ」より遠く、聞き手に近いものを指す

あ：「そ」より遠く、話し手、聞き手両者から遠いものを指す

ど：指示詞の疑問詞

Ⅳ 存在文と所有文

存在文とは、あるものが、特定の時間や場所に存在することを示す文のことである。存在文の主語が生物(自立して移動が可能)の場合、「います/いる」を使い、無生物の場合「あります/ある」を使う。

→p.24, p.26, p.38 参照

公園に子どもがいます。

駅前にタクシーがいます。

うちの前にコンビニがあります。

庭に木があります。

タクシーは本来、無生物だが、その中にいる運転手は自身の意志で移動できるため、生物として扱う。同じように、木は生物だが、自身で移動が不可能なため、無生物として扱う。

「います」「あります」は、存在という本来の意味から派生して、所有やスケジュール(日程)の意味も持つ。

(店で)かさ、ありますか。

明日会議があります。

私は妹が2人います。

子どものころ、うちに犬がいました。

存在文の主語は主に「が」で示されるが、主題の「は」で示される場合もある。→p.166 参照

V 動詞

動詞は、肯定・否定、時制、丁寧さなど、日本語の多くの情報を含んでいる。

日本語の動詞の形には、大きく分けて**丁寧形**と**普通形**がある。また、日本語の時制は**過去形**と**非過去形**(現在と未来の動作に使われる)に分けられる。 →ユニット 8 参照

動詞には不規則な活用があるものもあるが、ほとんどの場合、基本的なルールは同じだ。

1. 動詞の基本的な活用と機能

丁寧な動詞は「ます」で終わる。この活用は、**ます形**、**丁寧形**と呼ばれる。

辞書で言葉を探す時は、**辞書形**(普通形の非過去・肯定形)で探す必要がある。

動詞の**ます形**や**辞書形**は、時制や丁寧さを表現するためではなく文型表現と組みあわせて文を作成するために使われることがある。

「飲む」という動詞の**ます形**と**辞書形**を使って、どのような文が作れるか見てみよう。

1. ます形 (ますの前の語幹部分)

「のみ」ます

+たいです (**希望・願望**)

何か**飲み**たいです。

+に いきます (**移動の目的**)

飲みにいきます

2. 辞書形

「のむ」

+のが好きです (**動詞の名詞化**)

ビールを**飲む**のが好きです。

+ことができます (**動詞の名詞化**)

そこで日本酒を**飲む**ことができます。

このほかにも、**ない形**、**た形**、**て形**などの活用がある。

では、「書く」という動詞の形を変えて、どのような文が作れるか見てみよう。

3. ない形

「かか」ない

+ ないてください。 (**否定的な依頼**)

ここに**書か**ないてください。

+ないといけません(義務)

住所も書かないといけません。

4. た形 → ユニット 12 参照

「かいた」

+ ことがあります(経験)

ファンレターを書いたことがあります。

+ ほうがいいです(アドバイス)

日本語で書いたほうがいいです。

て形は、動詞の活用の中で最も中心的で重要なものとされている。

5. て形 → ユニット 5、ユニット 6 参照

「かいて」

て形(身近な人への頼みごと)

ここに名前を書いて。

て形(行為の順序)

手紙を書いて、寝た。

+ ください(依頼)

ここに名前を書いてください。

+ います(進行中の動作)

今手紙を書いています。

+ もいいですか(許可を得る)

ボールペンで書いてもいいですか。

2. 動詞の活用の仕方

ここからは、それぞれの動詞の活用を見ていく。前述したように、例外はあるが、「する」と「くる」の 2 つの不規則動詞を除けば、ほとんどの動詞の活用は一定のルールに従って活用する。

動詞は活用の仕方によって 3 つに分けられる。動詞の活用を覚えるには、まずこの 3 つの分類を理解することが大切である。

動詞の 3 つのグループ

1. Ru 動詞

「る」で終わる動詞で、「る」の前の母音が [i] または [e] である動詞。

例: たべる、みる、みせる、あける

*例外: かえる、はいる、はしる、しる → U 動詞

2. U 動詞

「う」や「つ」など、「る」以外の音で終わる動詞。

「る」で終わる動詞で、「る」の前の最後の母音が [a]、[u]、[o] であるもの。

例: いく、もつ、とぶ、さわる、うる、のる

3. 不規則動詞

する くる

いくつかの例外はあるが、すべての動詞を以上の3種類に分類することができる。

Ru 動詞の活用の規則が最も簡単だが、日本語の大半の動詞は **U 動詞**である。

辞書形の作り方

1. Ru 動詞

ます形の「ます」をとって、「る」をつける

-masu → -ru

たべます→たべる みます→みる

2 U 動詞

ます形から「ます」をとって、「ます」の前の音をイ段からウ段に変える。

かきます→かく のみます→のむ

サ行、タ行の仮名を使用すると音が変化するので注意してください。

はなします→はなす もちます→もつ

3. 不規則動詞

します→する きます→くる

ない形の作り方

1. Ru 動詞

ます形から、「ます」をとって「ない」をつける。

たべます→ たべない みます→ みない

2. U 動詞

ます形から「ます」をとって、「ます」の前の母音をイ段からア段にかえ、「ない」をつける。

かきます→かかない のみます→のまない

ただし、「**ます**」の前の音が母音の「**い**」である場合、「**あ**」ではなく「**わ**」を当てる。

かいます→かわない いいます→いわない

3. 不規則動詞

します→しない きます→こない

て形の作り方

1. Ru 動詞

ます形から「ます」をとって「て」をつける。

たべます→たべて みます→みて

2. U 動詞

U 動詞の**て形**は少し複雑だが、いずれも一定の規則に従っている。

ます形から「ます」をとった後に残る最後の音に基づいて次のように活用する。

1) い、ち、り →**って**

かいます→かって もちます→もって かえります→かえって

2) み、び、に →**んで**

のみます→のんで あそびます→あそんで しにます→しんで

3) き、ぎ →**いて、いで**

かきます→かいて およぎます→およいで

例外:いきます→いって

4) し → **して**

はなします →はなして

3. 不規則動詞

します→して きます→きて

た形は、**て形**と同様の活用です(「て」を「た」に置き換えます)。

VI 形容詞

日本語の形容詞は、動詞と同様、否定や時制などの重要な情報を最後に含んでいる。

日本語の形容詞には、「**い形容詞**」と「**な形容詞**」の2種類があり、それぞれ活用の仕方が異なる。

名詞の前に形容詞を付けて名詞句を作る場合、形容詞の末尾が「い」で終わるものは**い形容詞**と呼ばれ、

末尾が「な」で終わるものは**な形容詞**と呼ばれる。

→ユニット9、ユニット10、ユニット11 参照

形容詞は、文の述語で使われるか、名詞句の一部として使われるかによって、2通りの働きをする。

小さい - い形容詞

このカバンは**小さい**です。

これは**小さい**カバンです。

かんたんな - な形容詞

この問題は**簡単**です。

これは**簡単**な問題です。

なお、カジュアルな会話では、「です」は頻繁に省略される。

VII 数字

日本語では、数字を単体で言う場合と助数詞と一緒に言う場合とで、数字を表す言葉が異なる。

1. 単体の数字

日本の数字は10を基本としている。10より大きい数字は10の位、1の位の順で述べることにより表される。

0(ぜろ／れい)、1(いち)、2(に)、3(さん)、4(よん／し)、5(ご)、6(ろく)、7(なな／しち)、8(はち)、
9(きゅう／く)、10(じゅう)、11(じゅういち)、12(じゅうに)、.....、20(にじゅう)、.....、30(さんじゅう)

さらに、十進法に基づいた数字が存在し、10(じゅう)、100(ひゃく)から1,000(せん)まである。

10,000(まん)よりも大きい数は、これら4つの語を組み合わせで表現する。10,000×10,000は億、億×10,000は兆という単位がある。

100,000 十万

1,000,000 百万

100,000,000 一億

1,000,000,000,000 一兆

電話番号の読み方:03-5225-9733 は、【ゼロサン(ノ)ゴーニーニーゴー(ノ)キュウナナサンサン】と読む。

2. 時間を数える

3 ものの数を数える 助数詞

日本語では、何を数えるのかによって、助数詞を使い分けている。 → p.29、p.43、p.53 参照

うちには小さい皿が 10 枚あります。

車がもう 1 台ほしい。

ハンバーガーを 2 つください。

助数詞は、数えるものによって決まる。数値の読み方は、助数詞により異なる。

特に 1(いち)、3(さん)、6(ろく)、8(はち)、10(じゅう)は変化しやすいので注意が必要である。

[表 6]

まいー平らなもの	紙、皿、シャツなど
台ー大きなもの、機械など	テレビ、PC、車、自転車など
こ、つー 小さくて持ちやすいもの	たまご、ハンバーガー、トマトなど
かいーフロア、回数	
ほんー細長いもの	ペン、傘、ビン、ネクタイなど
にんー人	

VIII 疑問詞

このセクションでは、「なに」や「だれ」などの疑問詞を使った疑問文について取り上げ、日本語の疑問文のラインナップを紹介する。

疑問文は、通常、尋ねる内容を表す疑問詞を使い、文末に「か」をつけることで成立する。

1. *what* = なに/ なん

なにが好きですか。

これはなんですか。

2. *what time* = 何時

何時に起きますか。

仕事は何時までですか。

3. *where* = どこ

→ユニット2、ユニット8参照

どこにいきますか。

どこで勉強しますか。

4. *who* = だれ

だれと行きますか。

だれが来ましたか。

主語に疑問詞がくる場合、助詞は「が」を使う・

5. *what* + 名詞 = なんの + 名詞

なんの本を読みましたか。

6. *what kind of* = どんな → ユニット 10 参照

どんな人ですか。

どんなところですか。

7. *how many* = なん + 助数詞/いくつ

なんじかん勉強しました。

なんにんいますか。

いくつありますか。

8. *How* = なん + 助数詞/どのぐらい

なんさいですか。

どのぐらいいきますか。

どのぐらい遠いですか。

どのぐらいかかりますか。 → ユニット7参照

9 *How much* = いくら

いくらですか。 → ユニット4参照

10 *Which* = どっち どちら どれ

選択肢が2つのとき: どっち/どちらが好きですか。

選択肢が3つ以上のとき: どれが(いちばん)好きですか。

IX 副詞

副詞は動詞や形容詞の前に来て、その状態や程度を表す。

【状態の副詞】

ゆっくり話してください。

この町はすっかり変わった。

きちんと説明してください。

【程度の副詞】

とてもおいしいです。

日本語と英語はかなり違う。

いつもはビールですが、たまに焼酎を飲みます。

映画はあまり好きじゃありません。

私は彼女をぜんぜん知らない。

肯定文では「とても」「かなり」などの程度を表す副詞や、「いつも」「たまに」などの頻度を表す副詞が使用される。一方で、否定文では、動詞や形容詞の否定形とともに「あまり」「ぜんぜん」などの副詞が使用される。

形容詞の中には、以下のように活用し、副詞的な働きをするものがある。

早い→早く	早く着きました。
遅い→遅く	遅く起きました。
すごい→すごく	富士山はすごくきれいだ。

しずかな→しずかに	しずかに歩いてください。
ポジティブな→ポジティブに	もっとポジティブに考えよう。

X 省略語

話し言葉では特に省略が起きやすい。

1. 主語の省略

(私は)ジョンです。

(私は)会社員です。

(私は)アメリカから来ました。 →ユニット1参照

主語が聞き手である場合、疑問文でも叙述文でも、文脈からそれが類推できるため省略が起こる。

英語の “you” を意味する「あなた」は、日本語では使うことがほばない。その代わり、特定の名前、職位を表す語彙を使う。

(あなたは)会社員ですか。

(田中さん、)今、忙しいですか。

(先生は)ラーメンを食べますか。

2. 疑問詞の省略

疑問詞疑問文内でも疑問詞が省略され、主題のみを使うこともある。

お仕事は(何ですか)？

お名前は(何ですか)？ →ユニット1参照

「あなた」と同様に「あなたの」も、文脈から類推可能であり、使われない。

XI 敬語

どの言語にも、話す相手によって丁寧さを伝える方法がある。

日本語もその例外ではなく、日本語の敬語は誰が誰に話しているかによって、尊敬語と謙譲語の2種類に分けられる。

尊敬語は目上の人(聞き手や第三者)を上げるための使われ、謙譲語は話し手を下げるために使われる。**です・ます体**は「丁寧語」と呼ばれることもある。

丁寧語も敬語の一種と考えられるが、「尊敬語」「謙譲語」と異なり、聞き手と話し手の双方が尊敬の敬意を込めて丁寧に話す時に使われる。

例えば、「**食べる**」という動詞は、「丁寧語」「尊敬語」「謙譲語」のどれを使うかによって、まったく違う形になる。

例.1 **食べる** (eat)

丁寧語 食べます

尊敬語 めしあがります

謙譲語 いただきます

「**食べる**」のように、敬語として話す時にまったく別の言葉になる動詞もあるが、ほとんどの動詞は、尊敬語＝聞き手を上げる(**お**+[**ます形動詞**])+**になります**)か、謙譲語＝話し手を下げる(**お**+[**ます形動詞**])+**します**)という単純なルールに従って敬語になる。また、**Ru 動詞**の語幹に「**られる**」を、**U 動詞**の語幹に「**a れる**」を付けて尊敬語とする場合もある。

例. 2 **借りる** (borrow)

丁寧語 借ります

尊敬語 お借りになります / 借りられます

謙譲語 お借りします

例. 3

- Aさんは美術館の資料室で司書をしています。Bさんは学生です。-

A: この資料、お借りになりますか / 借りられますか。

B: ええ、お借りしたいです

敬語は動詞だけでなく、名詞にも使うことができる。これを美化語といい、名詞に接頭辞の「お」「ご」を付ける。

例) お水、お皿、お箸

ご出身、ご家族、ご趣味

和語というもともと日本で使用されていた言葉には「お」がつき、漢語という中国から借用した言葉には「ご」がつくのが一般的だ

お店や施設、公共交通機関など、接客が行われる場所で敬語がよく使われる。お客さまを上げるのに使われる尊敬語には次のようなものがある。

「お待ちください。」「ゆっくりご覧になってください。」「いらっしゃいませ。」

サービスや公共の場などで働く人が自分を低く言いたい時に使うのは「謙譲語」であり、「お待たせしました。」「すぐお持ちします。」「電車がまいります。」などは、日本全国でよく聞くフレーズだ。

以上、日本語の敬語について簡単に紹介したが、敬語は動詞にだけでなく、名詞や形容詞でも使われ、またそれを使う人と相手との関係性によって使用ルールが決まっている。

そのため敬語は日本人が何も考えずに自然に身につけるものではなく、私たち日本人も意識的に習得していくケースがほとんどである。

日本語学習者が敬語を使いこなすには時間がかかるかもしれないが、レストラン、バス、電車など、様々な場所で敬語を聞く機会がある。まずは身近な敬語を聞くことから始めてほしい。

日本語訳

Japanese Verbs (p.77)

日本語の動詞(辞書形、ます形、て形)

時制や機能によって、動詞はさまざまな活用をしますが、最も基本的な活用といえば、**辞書形**、**ます形**、**て形**の3つです。

辞書形は普通体とも呼ばれ、くだけた会話の中でよく使われますが、その他さまざまな文法表現においても使われます。**ます形**は、より丁寧な会話で使われます。

ユニット5とユニット6で扱った**て形**には時制がありませんが、多様な文法表現において使われる活用形です。

動詞は、その活用の仕方ですべて3つのグループに分けられます。単純な活用だけをする **Ru 動詞**や、それに属する動詞の数が最も多い **U 動詞**、その数が2つしかない**不規則動詞**です。

詳細な文法説明や活用、その他の問題については、p.171の文法ページをご覧ください。

日本語訳

Role playing

p.21 Unit1

A:あなたは友達のパーティーで初めて B さんという日本人に会いました。挨拶をして、自己紹介をしてください(自分自身の紹介をしてください)。

B:あなたは日本人です。パーティーで会った A さんに出身はどこか、どこに勤めているか、どこに住んでいるか、好きなことや興味があることについて聞いてください。

p.34 Unit2

●1

A:あなたはお金をおろしたいです。近くを歩いている B さんに、この辺にコンビニがあるか、どこにあるか、この近くかを聞いてください。

B:道で A さんがあなたに質問します。P.33 の地図をみて、質問に答えてください。

●2

A:あなたは駅の前にいます。現代美術館行きのバスに乗りたいです。B さんにバス停がどこかを聞き、そのバスが現代美術館に行くかを聞いてください

B:あなたはこの街に来るのが初めてです。バス停は近くにありますが、バスが現代美術館に行くかどうかわかりません。

p.48 Unit3

●1 キオスクで

A:あなたはキオスクにいます。自分の携帯の充電器があるかとその値段を聞いてください。またもっと安いものがあるかを聞いてください。

B:あなたはキオスクの店員です。あなたの店に 1,000 円と 1,500 円の充電器があります。最初に高い方を勧めてください。

●2 店で

A:あなたは店にいて、傘が買いたいです。店員に値段と、もう少し小さいものがあるかを聞いてください。

B:あなたは店員です。あなたの店に 1,500 円の小さい傘と、2,500 円のより大きい傘があります。質問をされたら最初に大きい傘を紹介してください。

p.62 Unit4

●1

A:あなたはレストランの客です。ウェイターを呼び、メニューをもらって、食べたいものを注文してください。

B:あなたはレストランのスタッフです。呼ばれたら p.61 のメニューを A さんに見せて注文を受け、飲み物の注文がないかも聞いてください。

●2

A:あなたはファーストフードレストランのレジで店員と話しています。持ち帰りでハンバーガーとアイスコーヒーを注文してください。袋はいらないと言ってください。

B:あなたはファーストフードレストランでレジ係をしています。A さんの注文を聞き、アイスコーヒーにガムシロップとミルクを使うか、袋に入れるかを聞いてください。

p.74 Unit5

●1

A:あなたは口コミ評価の高いレストランに来ましたが、混んでいるようです。店の人に予約をしていないが大丈夫かを聞いてください。もし断られたら、店のショッピングカードをもらってもいいかを聞いてください。

B:あなたはレストランで働いています。今予約でいっぱい、予約なしのお客さんは案内できないので断ってください。

●2

A:あなたはジムの会員になりたいです。ジムのカウンターにいる人にそれを伝え、時間がないのでフォームをうちで買ってあとで持ってくると伝えてください。また英語で記入していいか確認してください。

B:あなたはジムで働いています。A さんはメンバーになりたいので、入会の書類に記入をすることを伝えください。A さんはうちでそれを書いてきても、もちろん英語で書いても大丈夫です。

p.87 Unit6

●1

A:日本人の友達が遊びに来ました。中に入って座るよう勧めて、その後お茶を出してください。

B:あなたはAさんのうちに遊びに来ました。お土産のチョコレートをプレゼントし、Aさんが何か勧めてくれたら、「ありがとう」と受け取ってください。

●2

A:あなたはインフォメーションセンターにいます。スタッフに最寄りのバス停の時刻表を見せてもらってください。その後コピーをもらってください。

B:あなたはインフメーションセンターで働いています。Aさんのリクエストを聞き対応してください。

p.100 Unit7

●1

A:あなたは今、渋谷にいます。飯田橋に行きたいので、近くにいる人に行き方と所要時間を尋ねましょう。

B:あなたは今、渋谷にいます。P.94の地図を見て、Aさんの質問に答えましょう。わからない場合は、「わかりません」と言ってみましょう。

●2

A:あなたはBさんの出身地に行ってみたいです。Bさんに行き方と所要時間、交通費を尋ねましょう。

B:Aさんがあなたの出身地を訪ねたいので、質問に答えてください。

p.113 Unit8

●1

A:あなたはBさんに東京を案内します。Bさんにどこに行きたいか、何を食べたいかを聞き、予定を立ててください。

B:Aさんがあなたに東京を案内してくれます。自分の希望を伝え、一緒に何をするか決めましょう。

●2

A:あなたは1週間の休暇から戻ったところです。Bさんに休暇について話してください(何をしたかは自分で考えてください)。また、Bさんは来週休暇をとります。Bさんの休暇の計画について尋ねてください。

B:Aさんに休暇中どこに行ったか何をしたか尋ねてください。また、来週のあなたの休暇についてもBさんに話してください(どこで何をするかは、自分で考えてください)。

p.126 Unit9

●1

A:あなたは、先週旅行しました。Bさんに旅行の感想を伝えましょう(どこに行ったかは、自分で考えてください)。

B:Aさんに旅行(天気、食べ物、ホテルなど)はどうだったか、何をしたかについて聞きましょう。

●2

A:あなたは最近、日本のある町に引っ越しました。Bさんにその町についてどう思うか伝えましょう(いま自分が住んでいるところについて話してみてください)。

B:Aさんは、最近引っ越しました。その町について、または家、そこでの生活について尋ねてみましょう。

p.130 Unit10

A:あなたは今 Bさんと居酒屋にいます。Bさんにお勧めを聞き、それがどんな味なのかを質問しましょう。

Bさんが勧めてくれたものが苦手な場合、食べられない理由を言って断りましょう。

B:あなたは今Aさんと居酒屋にいます。巻頭写真から、あなたの好きなメニューをお勧めしてみてください。

p.151 Unit11

●1

A:あなたはかつての同僚であるBさんと偶然再会しました。久しぶりだったので、Bさんの仕事や家族について近況を尋ねてください。

B:あなたはかつての同僚であるAさんと偶然再会しました。久しぶりだったので、Aさんがどうしていたかについて尋ねてください。

●2

A:近所のBさんに道でばったり会いました。最近の天気について軽く雑談をし、別れましょう。

B:近所のAさんに道でばったり会いました。挨拶をし、軽く雑談をしましょう。

p.161 Unit12

A:あなたは来月、歌舞伎が見たいと思っています。Bさんに歌舞伎を見たことがあるか尋ね、誘ってください。

B:あなたは歌舞伎を見たことがありません。Aさんの誘いを受けましょう。

日本語訳

Column (p.184-186)

1. 文脈で意味が変わる表現

日本語の中には、同じ表現でもさまざまな意味や使い方をもったものがあります。以下、代表的なものについて紹介します。

(1) ちょっと

「ちょっと」には、大きく下記2つの意味があります。

1. 数量や程度

「ちょっと」とはもともと「少し」と同じ意味で、「量が少ない」、「程度が低い」ことを表す言葉です。

ちょっと待ってください。

Please wait a little.

もうちょっと安いありませんか。

Do you have a little cheaper one?

2. 婉曲的な否定

実際の運用では、婉曲的に否定したり、断ったりする時に使うこともあります。

さあ、ちょっとわかりません。

Sorry I don't know

ごめんなさい、金曜日はちょっと

Sorry I won't be available Friday

ここでの「ちょっと」は、断ることをより柔らかく相手にとって受け入れやすくするための表現です。

(2) すみません

「すみません」は日本語の中でもっとも便利な表現のひとつです。代表的な使い方は下記の3つです。

1. 呼びかける

お店などで店員を呼ぶ時に使う他、とっさに人を呼び止める時にも使うことができます。

2. 謝る

少し丁寧なお詫びの言葉として使われます。カジュアルな表現では「ごめん」や「ごめんなさい」、丁寧な表現では「申し訳ございません」が使われます。

3. お礼を言う

距離がある人や目上の人に対して、より「すみません」を使う傾向があります。

日常の中で少しずつ上記のような表現を使ってみましょう。

(3) 気をつけて

「気をつけて」には以下の2つの意味があり、英語の “take care” とは用法が異なるため、注意が必要です。

1. 人を見送る時の挨拶

「道中の安全を祈る」という意味があるため、別れの場面で、見送る側のみが使える表現です。お互いが別々の場所に帰るという場合は「じゃあまた(明日、来週、今度 etc..)」などの表現を使います。

2. 注意喚起

「注意してください」という意味があるため、お店の人がお客さんに対して使います。例えば、熱い飲み物や食べ物に対して、また、ある商品に対して間違った使い方をすると危険だという注意喚起のために使います。

(4)そうです

「そうです」の「そう」は英語の “so” の意味で、前述の内容を受け、同じフレーズの繰り返しを避けるために使う表現です。そこに疑問の終助詞「か」、同意の終助詞「ね」、教示の終助詞「よ」をつけると、それぞれ異なったニュアンスが付け加えられます。またイントネーションでも意味が変わります。

A の発言に対する、B のリアクション i) ～ iv)で、それぞれ違いを見てみましょう。

A: 東京の夏は蒸し暑いです。

B:

i) そうです **か** ↑ (上昇イントネーション)。 *I don't think so.*

上昇イントネーションと一緒に使えば相手の発言に同意しないという意味になります。

ii) そうです **か** ↓ (下降イントネーション)。 *I'm just listening.*

下降イントネーションと一緒に使えば「聞いていますよ」という相づち表現になります。

iii) そうです **ね**。 *I think so, too.*

相手の意見に同意するという意味です。

iv) そうです **よ**。 *Didn't you know?*

相手の意見に対し、「私は知っていましたよ(あなたは知らなかったんですね)」という意味が伝わります。

(5)けっこうです / だいじょうぶです / いいです

ユニット4で必要でないものを断る表現について学びました。「～、いらないです」。

これ以外にも、「けっこうです」「だいじょうぶです」「いいです」など、提案を受けて丁寧に断る表現があります。しかし、これらの表現の文字通りの意味は「けっこうです = *that's fine*」、「だいじょうぶです = *it's OK*」、「いいです = *that's good*」など肯定的なものです。それが、以下のような文脈でのみ、丁寧な断りの表現として使われるので注意が必要です。

1. 提案を丁寧に断る

<飲食店や訪問先で>

Q お茶 **は**いかがですか。

A いいえ、けっこうです／だいじょうぶです／いいです。 = *No, thank you.*

断る場合は、まず「いいえ」から始めたほうが確実です。提案を受ける場合は、「はい、ありがとうございます／おねがいします」と言しましょう。

<お店で>

Q 袋は？

A けっこうです／だいじょうぶです／いいです。 = *I am fine./ No, thank you.*

必要な時は、「おねがいします」と言しましょう。

2. 確認されて、許諾する

以下のような質問に対しては、文字通り、肯定的な意味を伝えられます。問題ないという許諾の意味では、必ず「はい」から始めてください。

Q お茶でいいですか。

A はい、(お茶で) けっこうです／だいじょうぶです／いいです。 = *Tea is fine.*

2. 味の表現

ユニット 10 で扱った味の表現について、補足的な説明です。

● 苦い

苦い、と感じるものは個人的感覚もさることながら、国によっても異なるようです。日本では、セロリ、ピーマンなどの野菜、ビール、トニックウォーターなどの飲み物、チョコレートでも砂糖やミルクなどの分量が少ない、あるいは入っていないものが「苦い」と表現されます。

● 味があまりない

「味があまりない」というと「まずい」の婉曲表現だと思われる方もいるかもしれませんが、日本では、こんにゃくや豆腐など、出汁、あるいは醤油、塩などの調味料で味付けをして食べる食品については、「味が無い」と表現することが多いようです。

● 面白い味

これは個人の味覚のものさしに当てはめて、全く食べたことがない味について言及する時に使うとよいでしょう。また「まずい」とはダイレクトに言い難いとき、あるいは「まずくはないがおいしくもない」など、どう表現していいかわからない時に使うと便利な表現かもしれません。

● 甘辛い

照り焼きソースを代表として、日本には醤油のしょっぱさと、砂糖の甘さを合わせて調味に使うことが多いです。ここでいう「辛い」は“spicy/hot”の意味ではなく“salty”の意味です。地域によっては“salty”の意味で「辛い」を使います。